

環境経済・政策学会 2021 年大会 プログラム

2021 年 9 月 25 日 (土) ・ 26 日 (日)



Society for Environmental Economics and Policy Studies
26th Annual Conference

Program

September 25 Sat. & 26 Sun., 2021

目次 Contents

会長あいさつ	Greetings from the President	3
スケジュール	Program at a glance	4
プレカンファレンス	Pre-conference	6
招待講演	Plenary session	7
会長講演	President's Speech	8
プログラム	Program	10
参加方法について	Session guidelines	28

Cover Photo by Nick Jones on Unsplash

会長あいさつ Greetings from the President

環境経済・政策学会 会長(2020–2021 年度)
栗山 浩一 (京都大学 教授)

SEEPS President (2020–2021)
Koichi Kuriyama (Professor, Kyoto University)

2021 年大会は名城大学で開催が予定されていましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため本年度の大会は昨年度に引き続きオンラインで開催し、名城大学での大会は 2022 年度に延期することになりました。今年こそは会員の皆さんが対面で研究交流できることを強く望んでおりましたが、新型コロナウイルス感染症対策が社会的に強く求められていることから、やむを得ず本年度もオンライン開催となりました。二年連続のオンライン開催となりましたが、本年度も多数の報告が申請されております。報告を申請していただいた多くの会員の皆様には心より感謝を申し上げます。昨年度のオンライン大会では、通常
の対面での大会と同様に活発な議論が交わされ、オンライン大会でも十分な研究交流を実現できたのではないかと考えております。新型コロナウイルス感染症の拡大により世界は様々な課題に直面し、環境問題を巡る状況も大きく変化しております。環境経済・政策学会も、従来からの課題に加えて、新たな社会的課題にも積極的に取り組んでいくことが求められております。多数の会員の皆様がオンライン大会に参加し、積極的に議論を交わすことで、環境経済・政策学のさらなる発展が実現できることを期待しております。

スケジュール Program at a glance

9月24日（金） Friday, September 24

プレカンファレンス「東アジアのカーボンニュートラルに向けたエネルギー・環境政策の課題」

Pre-Conference: Challenges for Energy and Environmental Policy toward Carbon-Neutral East Asia

9月25日（土） Saturday, September 25

	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場	G 会場
10:00-11:30	基調講演 Plenary session 伊藤 公一朗（シカゴ大学 准教授） Koichiro Ito (Associate Professor, University of Chicago) The Value of Infrastructure and Market Integration: Evidence from Renewable Expansion in Chile						
11:45-12:45	昼食・理事会 Lunch / Board of directors meeting						
13:00-13:45	総会 General assembly of members						
14:00-16:00	Speed Talk (1)	Speed Talk (2)	企画：ライフサイクル影響評価手法の開発	企画：暗示的炭素価格を踏まえたCPの制度設計	企画：炭素排出ゼロにむけた地域分散型エネルギー	企画：福島原発事故10年を検証する	企画：2050年カーボンニュートラルを達成するための条件
16:30-18:30	Speed Talk (3)	Speed Talk (4)	Asia and Developing Countries	エネルギー・大気汚染	廃棄物処理・リサイクル政策	環境政策-理論	
19:00-20:00	交流会 Social gathering						

9月26日(日) Sunday, September 26

	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場	G 会場
9:00-11:00	Climate Change	環境と技術	環境と経済成長	農業・食料	気候変動	環境ガバナンス	
11:30-12:30	昼食・理事会 Lunch / Board of directors meeting						
13:00-13:45	会長講演 President's Speech 授賞式 Award Ceremony						
14:00-16:00	企画：ポスト・トランス・サイエンスの時代における専門知と地域知	企画：「5060目標」と「東アジア低炭素共同体」構想の具現化	企画：2050年気候変動目標に向けた不確実性の中での企業行動の在り方	企画：中国の炭素中立に向けた政策とその効果について	貿易と環境	再生可能エネルギー(1)	
16:30-18:30	Natural Disaster	企業と環境	自然資源管理	環境評価	水環境政策・流域管理	再生可能エネルギー(2)	

プレカンファレンス Pre-Conference

「東アジアのカーボンニュートラルに向けたエネルギー・環境政策の課題」

Challenges for Energy and Environmental Policy toward Carbon-Neutral East Asia

Date: 14:00-18:00, September 24 (Fri.), 2021

To attend the pre-conference, please send e-mail to Soocheol Lee (slee@meijo-u.ac.jp) with your full name, affiliation and email address by September 20, 2021.

- | | |
|-------------|--|
| 14:00-14:10 | Opening Remark
Soocheol Lee (Meijo University) |
| 14:10-14:40 | “Challenges of Decarbonization Policies and Technological Innovation toward Carbon Neutral Society in Japan”
Toshihiko Masui (National Institute for Environmental Studies) |
| 14:40-15:10 | “Challenges of Decarbonization Policies and Technological Innovation toward Carbon Neutral Society in Korea”
Jeongin Kim (Chung-Ang University) |
| 15:10-15:40 | “Challenges of Decarbonization Policies and Technological Innovation toward Carbon Neutral Society in Taiwan”
Daigee Shaw (Academia Sinica) |
| 15:40-16:10 | “Challenges of Decarbonization Policies and Technological Innovation toward Carbon Neutral Society in China”
Jun Pang (Renmin University of China) |
| 16:20-17:35 | Panel Discussion
Hongbo Ren (Shanghai University of Electric Power)
Yongsung Cho (Korea University)
Shih-Mo Lin (Chung Yuan Cristian University)
Soocheol Lee (Meijo University) |
| 17:35-18:00 | Q&A
Closing Remark
Shunsuke Managi (Kyushu University) |

招待講演 Plenary session

伊藤 公一郎 (シカゴ大学 准教授)

Koichiro Ito (Associate Professor, University of Chicago)

The Value of Infrastructure and Market Integration: Evidence from Renewable Expansion in Chile

Effective and economical expansion of renewable energy sources is one of the most urgent and important challenges of addressing climate change. A central obstacle to this expansion is that existing network infrastructures (i.e., transmission networks) were not originally built to accommodate renewable energy such as solar and wind power, which are best generated at locations far from centers of demand. To design effective new infrastructure networks that connect the energy demand with renewable energy supply, it is essential to understand how such networks affect electricity markets both in the short-run, through changes in supply and demand of existing suppliers and consumers, and in the long-run, through the potential impacts on firms' investments in new power plants. There is however limited research and evidence on this pressing question, which makes it difficult for policymakers to develop effective solutions. To address this gap, this project will provide a new theoretical framework to accommodate both short-run and long-run impacts of new infrastructures on electricity markets. We will then apply this framework to newly-collected comprehensive microdata from the Chilean electricity market to conduct empirical analysis based on quasi-experimental methods and structural estimation. The Chilean electricity market offers an ideal research environment to explore the broad implications of renewable energy – it is one of the frontier nations in terms of rapid growth in renewables; it provides access to detailed microdata; and its relatively simple geography facilitates transparent and tractable empirical analysis. Our project will be the first study to provide short-run and long-run analyses of the interactions between renewable expansions, new transmission networks, and electricity markets. The findings and insights from this research will be relevant to other countries around the world and can inform policy to encourage the design of new infrastructure networks that will effectively and economically integrate renewables into energy markets.

※講演は日本語でおこなわれます。 The lecture will be given in Japanese.

会長講演 President's Speech

栗山 浩一（京都大学 教授）

Koichi Kuriyama (Professor, Kyoto University)

環境経済・政策学は環境政策にいかなる影響を及ぼしたか？

環境経済・政策学会が設立されてから20年以上が経過し、この間に環境経済・政策学の研究水準は飛躍的に向上した。しかし、はたして環境経済・政策学の研究成果は、国内の環境政策にどれだけの影響を及ぼしたのだろうか。本報告では、環境経済・政策研究に対する私の想いと自省の念を込めて、問題提起を行いたい。

環境経済・政策学が国内の環境政策にもたらした第一の貢献として、環境政策における経済的手段の導入がある。環境経済・政策学会が設立される以前は、国内の環境政策における政策手段は環境基準による直接規制が中心であった。しかし、今日では、地球温暖化対策のための税（温対税）、レジ袋有料化、入山料、森林環境税など様々な経済的手段が導入されている。だが、これらの経済的手段は果たして有効に機能しているのだろうか。たとえば、温対税は、課税による経済的インセンティブを活用してCO₂の排出抑制を進めるとともに、その税収を活用して再生可能エネルギーや省エネ対策などの排出抑制対策を強化することが目的とされている。しかし、温対税の税率は海外の炭素税と比較すると極めて低く、排出抑制効果はほとんど期待できない。一方、税収による財源効果については削減費用が高額であり、非効率的な状況にある。環境税による排出削減は、応用一般均衡モデルにより予測が可能であるが、そうした環境経済・政策学の研究成果は、温対税の税率などの制度設計に反映されているのだろうか。現在、カーボンプライシングに関する議論が政府で行われているが、環境経済・政策学の知見は適切に反映されているのだろうか。

環境経済・政策学の第二の貢献としては、政策評価手法の導入がある。効果的な環境政策を実現する上で、政策の効果を事前に予測することは重要である。しかし、価格の存在しない環境の価値を定量的に評価しない限り、自然環境の価値を政策に反映することは不可能である。これに対して、環境経済・政策学では、様々な政策評価手法が考案され、環境の価値を金銭単位で評価することで、環境政策の費用便益分析を実現している。例えば、環境関連の公共事業評価において、環境経済・政策学で考案された政策評価手法が用いられている。だが、はたして政策評価手法は政策立案に生かされているのだろうか。国内で行われている公共事業の政策評価は、あくまでも事業計画の予算獲得を正当化するための根拠資料として使われているだけであり、評価結果によって事業計画の内容そのものが見直されるわけではない。いわば、政府が実現したい政策の裏付けとして政策評価が

使われているのが実態ではなかろうか。

環境経済・政策学の第三の貢献としては、行政担当者と研究者の連携がある。2009年から開始された環境省「環境経済の政策研究」では、行政担当者と研究者の緊密な連携により今後の戦略的な政策の形成に貢献する研究を進めることが目的とされた。これまでに多くのプロジェクトが実施され、多数の研究者と行政担当者の連携が実現された。しかし、「環境経済の政策研究」は、はたして政策形成へ影響を及ぼしたのだろうか。私自身がプロジェクトに参加した経験を踏まえると、多数の研究成果は得られたものの、政策形成への影響は疑問を感じざるを得ない。

以上のように、環境経済・政策学は環境政策に部分的に影響を及ぼしたものの、政策形成への貢献は極めて限定的と言わざるを得ない。なぜ、政策形成に影響を及ぼすことが困難なのか。そして、環境経済・政策学が環境政策に大きな影響をもたらすためには何が必要なのか。今後の課題について提示したい。

プログラム Program

【大会第1日目】 2021年9月25日（土） Day1: Saturday, September 25

Speed Talk (1) 座長：山口 臨太郎（国立環境研究所）

9月25日 14:00-16:00 A会場

Designing optimal rainfall index based crop production insurance in the Luvuvhu catchment area of the Limpopo River Basin of South Africa

○Ndahangwapo Nelson¹, Thiam Djiby¹, Dinar Ariel² (¹University of Cape Town, ²University of California)

Efficiency of self-enforcing agreements

○阪本 浩章¹, Traeger Christian² (¹神戸大学, ²University of Oslo)

Decomposition analysis for Toxic Chemical Emission Changes in U.S. Manufacturing Sectors from 2001 to 2019

○施 毅, 藤井 秀道（九州大学）

Do Municipal Mergers Reduce the Cost of Waste Management? Evidence from Japan

○李 金松, 竹内 憲司（神戸大学）

Analysis of the Initial Infection Situation and Countermeasures of COVID-19 by Policy Engineering

○HU Jiarong, ZHOU Weisheng（立命館大学）

Geography in sustainable niche formation: Transnational and local linkages in Taiwan's offshore wind power development

○陳 奕均（東京大学）

Speed Talk (2) 座長：中本 裕哉（大分大学）

9月25日 14:00-16:00 B会場

持続可能な消費と生産政策の形成プロセスとデザイン～日本とタイでの協働デザインワークショップの企画と実施

○田崎 智宏¹, 木下 裕介², 天沢 逸里², Bunditsakulchai Pongsun³, Mungkalasiri Jitti⁴,
堀田 康彦⁵, 平尾 雅彦² (¹国立環境研究所, ²東京大学, ³チュラロンコン大学,
⁴サステナビリティ技術情報研究所, ⁵地球環境戦略研究機関)

公営 GAP 基準に関する生産者の認識と農薬使用: タイ・チェンマイ県におけるキャベツ栽培を事例として

○雨河 祐一郎¹, Surat Hongsihong² (¹立命館大学, ²チェンマイ大学)

Climate Change, Growth and Inequality: Evidence from Rural China

○楊 潔 (University of Toyama)

A Bioeconomic Model of the Wildlife Conservation in Private Land Conservation Areas under Trophy Hunting Regulations

○謝 子晋 (慶應義塾大学)

航空産業の 2050 年炭素排出削減目標に関する達成経路分析

○鬼頭 みなみ^{1,2}, 高藪 広隆³, 南齋 規介² (¹九州大学, ²国立環境研究所, ³近畿大学)

都道府県における森林の多面的機能の経済評価の歴史的展開: 日本学術会議答申・林野庁による公益的機能の経済評価の影響分析

○鈴木 裕也, 香坂 玲 (名古屋大学)

企画: ライフサイクル影響評価手法の開発—LCA と環境経済学の学際的評価アプローチ—
座長: 村上 佳世 (神戸大学)

9月25日 14:00-16:00 C会場

環境影響緩和に対する社会経済的評価の G20 比較研究

○村上 佳世 (神戸大学)

世界の水資源消費に起因する健康被害評価モデル

○本下 晶晴 (産業技術総合研究所)

共通社会経済シナリオ SSP に基づく CO₂ の健康被害係数の推計

○湯 龍龍¹, 伊坪 徳宏² (¹農業・食品産業技術総合研究機構, ²東京都市大学)

ライフサイクル影響評価と炭素社会費用

○伊坪 徳宏 (東京都市大学)

討論者：栗山 浩一 (京都大学)

企画：暗示的炭素価格を踏まえたカーボンプライシングの制度設計：効率性と地域経済間の公平性を目指して

座長：松本 茂 (青山学院大学)

9月25日 14:00-16:00 D会場

カーボンプライシングによる地域経済への影響 2005年地域間産業連関表を用いた分析

○杉野 誠 (山形大学)

2015年次世代エネルギーシステム分析用産業連関表(組込表)の作成

○鷲津 明由¹, 中野 諭² (¹早稲田大学, ²日本福祉大学)

CCUSの役割と普及における諸課題

○中垣 隆雄 (早稲田大学)

日本におけるカーボンプライシングの制度設計の論点 —炭素税・排出量取引を中心として—

○有村 俊秀, 森村 将平 (早稲田大学)

討論者：林 大祐¹, 渡邊 隆俊² (¹立命館大学, ²愛知学院大学)

企画：炭素排出ゼロにむけた地域分散型エネルギーシステムの課題

座長：高橋 洋 (都留文科大学)

9月25日 14:00-16:00 E会場

ゼロカーボン政策の国際比較

○安田 陽 (京都大学)

メリット・オーダー効果を考慮した再生可能エネルギーの回避可能費用

○木村 啓二¹, 分山 達也² (¹自然エネルギー財団, ²九州大学)

省エネポテンシャルと削減シナリオ

○歌川 学 (産業技術総合研究所)

西日本の石炭・原発抜きの電力需給

○竹濱 朝美¹, 歌川 学² (¹立命館大学, ²産業技術総合研究所)

討論者：松橋 隆治 (東京大学)

企画：福島原発事故 10 年を検証する

座長：除本 理史 (大阪市立大学)

9 月 25 日 14:00-16:00 F 会場

広域原発避難の実態—自治体アンケートが照らし出す民間借上仮設住宅停止後の生活影響

○高橋 若菜 (宇都宮大学)

東京電力福島第一原発事故処理の課題

○大島 堅一 (龍谷大学)

福島原発事故による森林汚染対策の批判的検討—阿武隈地域を事例に—

○藤原 遥 (福島大学)

討論者：松岡 俊二¹, 除本 理史², 大森 正之³ (¹早稲田大学, ²大阪市立大学, ³明治大学)

企画：2050 年カーボンニュートラルを達成するための条件 —世界と日本の 2050 年自然エネルギー100%シナリオ およびグリーン・ニューディール—

座長：明日香 寿川 (東北大学)

9 月 25 日 14:00-16:00 G 会場

日本の 2050 年再エネ 100%供給シナリオおよび費用計算

○槌屋 治紀¹, 明日香 寿川², 歌川 学³ (¹株式会社システム技術研究所, ²東北大学, ³産業総合研究所)

欧米におけるグリーン・ニューディールの政治力学

○朴 勝俊（関西学院大学）

2030年および2050年にむけたエネルギー・ミックスとCO₂排出削減シナリオ 各シナリオの比較分析および省エネ・再エネの可能性

○外岡 豊¹, 歌川 学², 明日香 寿川³（¹埼玉大学, ²産業技術総合研究所, ³東北大学）

討論者：松原 弘直¹, 甲斐沼 美紀子², 西岡 秀三²（¹環境エネルギー政策研究所, ²地球環境戦略研究機関）

Speed Talk (3) 座長：江口 昌伍（福岡大学）

9月25日 16:30-18:30 A会場

サーキュラー・エコノミーに関する技術開発の要因分解分析

○井上 まどか, 藤井 秀道（九州大学）

選択型実験による傘シェアリングサービス利用の要因分析

石井 怜奈, 大井 祥暉, ○河本 真銘, 本間 凜一, 福井 明日香, 吉田 紘太郎（早稲田大学）

グローバルサプライチェーンの再構築を通じたCO₂排出削減

○前野 啓太郎¹, 時任 翔平², 加河 茂美¹（¹九州大学, ²山形大学）

土地利用シナリオの選好分布に対する空間計量経済分析 – 石川県における選択型実験の実証研究 –

○京井 尋佑¹, 栗山 浩一¹, 橋本 禅²（¹京都大学, ²東京大学）

CVMを用いた屋久島のアカウミガメ保全の経済的価値評価

○木谷 惇志（京都大学大学院）

Evaluating consumer preference for wildlife-friendly certification and labeled rice

○豆野 皓太¹, 久保 雄広², 氏家 清和³, 庄子 康⁴（¹東北大学, ²University of Oxford, ³University of Tsukuba, ⁴Hokkaido University）

Speed Talk (4) 座長：岩田 和之 (松山大学)

9月25日 16:30-18:30 B会場

公正な移行と地域再生：日本の自治体の経験から学ぶ

○佐々木 晶子^{1,2} (1地球環境戦略研究機関, 2アジア経済研究所)

日本企業のSDGsの取り組みの進展と財務データに関する分析

○生田 孝史 (九州大学)

地方森林環境税導入後に森林・林業関係の財政支出は増加したのか—石川県・富山県の森林・林業関係部局の予算を事例に—

○吉村 武洋 (長野大学)

太陽光発電の地域トラブルに対する「調和・規制条例」の分類と分布

○山下 紀明 (環境エネルギー政策研究所)

中国における電気自動車への消費者選好のBWS評価

○吉田 謙太郎 (九州大学)

CO₂実質ゼロ排出に向けた都市のトランジション研究 SolarEVシティ構想と京都未来門プロジェクト

○小端 拓郎 (国立環境研究所)

Asia and developing countries 座長：島田 幸司 (立命館大学)

9月25日 16:30-18:30 C会場

A comparative review of solar PV energy promotion policy in selected Southeast Asian countries: sharing feed-in tariffs experience

○HO THANH TAM, Arefeen Saiful, Koji Shimada (Ritsumeikan University)

討論者：杜 依濛 (京都大学)

Pollution Spillover or Carbon Leakage? A Spatial Difference-in-differences Analysis of the Jing-Jin-Ji Air Pollution Mitigation Policy in China

○ZHANG TUO¹, GUO Yanjun², LI Yurui³ (¹京都大学, ²北京第二外国语学院, ³中国科学院)

討論者：馬 騰 (京都大学)

Determinants of household's decisions on insecticide-treated mosquito net in Vietnam

○Mai Chinh, 日引 聡 (東北大学)

討論者：Yokoo Hidefumi (Hitotsubashi University)

エネルギー・大気汚染 座長：松本茂 (青山学院大学)

9月25日 16:30-18:30 D会場

近年中国のオゾン汚染の季節及び地域別特徴

○朱 美華¹, 箕浦 宏明¹, 岡山 紳一郎², 渡辺 広江² (¹アジア大気汚染研究センター, ²日産自動車(株))

討論者：知足 章宏 (フェリス女学院大学)

Impact of COVID-19 on household electricity usage

○松本 茂¹, Hoang Viet Ngu², Wilson Clevo² (¹青山学院大学, ²クイーンズランド工科大学)

討論者：有賀 健高 (埼玉大学)

世界金融危機と新型コロナ危機が中国と国際化石燃料の価格関係に与えた影響

○唐 朝豊, 有賀 健高 (埼玉大学)

討論者：清水 延彦 (京都大学)

運輸部門の脱炭素化に向けた電気自動車の普及可能性の評価

○清水 延彦, 王 敦彦, 山東 晃大 (京都大学)

討論者：柘植 隆宏 (上智大学)

廃棄物処理・リサイクル政策 座長：一ノ瀬 大輔 (立教大学)

9月25日 16:30-18:30 E会場

食品ロス削減計画の策定はごみ減量化にどのような影響を与えるのか？

○石村 雄一¹, 新熊 隆嘉², 竹内 憲司³, 細田 衛士⁴ (¹近畿大学, ²関西大学, ³神戸大学, ⁴中部大学)

討論者：田崎 智宏 (国立環境研究所)

一般廃棄物収集費用の決定要因：運営主体とプラスチックリサイクルの影響

○一ノ瀬 大輔¹, 山本 雅資² (¹立教大学, ²東海大学)

討論者：笹尾 俊明 (立命館大学)

ごみ有料化への賛成を促す情報の内容についての実証分析 ～会津美里町住民へのごみに関するモニター調査をもとに～

松本 千穂, ○沼田 大輔 (福島大学)

討論者：何 彦旻 (追手門学院大学)

プラスチック製容器包装廃棄物のリサイクルに関するパネルデータ分析

○笹尾 俊明 (立命館大学)

討論者：石村 雄一 (近畿大学)

環境政策一理論 座長：日引 聡 (東北大学)

9月25日 16:30-18:30 F会場

Optimal Inspection under Moral Hazard and Limited Liability of Polluter

○新熊 隆嘉¹, 日引 聡², 澤田 英司³ (¹関西大学, ²東北大学, ³九州産業大学)

討論者：赤尾 健一 (早稲田大学)

化石燃料の評価と炭素の社会的費用

○山口 臨太郎 (国立環境研究所)

討論者：大石 太郎 (東京海洋大学)

持続可能性の経済理論と「資本基盤主義」

○倉阪 秀史 (千葉大学)

討論者：和田 喜彦 (同志社大学)

COVID-19 as a Global Public Bad and Indiscriminate Ubiquitous Negative Externality

○佐藤 公敏 (尚絅学院大学)

討論者：山口 臨太郎 (国立環境研究所)

【大会第2日目】 2021年9月26日（日） Day2: Sunday, September 26

Climate Change 座長：有村 俊秀（早稲田大学）

9月26日 09:00-11:00 A会場

Personality Traits, Economic Preferences, and the Individual Support of Climate Policy Measures: An Empirical Study for Japan

○Mriduchhanda Chattopadhyay¹, Toshi H. Arimura¹, Andreas Ziegler²（¹早稲田大学, ²University of Kassel）

討論者：Ko Yi Chun（東北大学）

Capacity to Adapt to Temperature Effects on Crop Yields: Evidence from Rice Production in Japan

○Ko Yi Chun¹, 日引 聡¹, 内田 真輔²（¹東北大学, ²名古屋市立大学）

討論者：田中 健太（武蔵大学）

Does climate change have more impact on the poor?

○Chavez Ambar, Hibiki Akira（Tohoku University）

討論者：Dendup Ngawang（早稲田大学）

Climate Change Policy in Japan: Analysis of the Factors contributing to Japan's weak Climate Change and Energy Policy Framework

○Stelder Michelle（Ritsumeikan University）

討論者：亀山 康子（国立環境研究所）

環境と技術 座長：佐々木 創（中央大学）

9月26日 09:00-11:00 B会場

環境技術の選択と環境意識の高い消費者の存在が環境政策の有効性に与える影響に関する計量分析

○于 新志（龍谷大学）

討論者：朝日 幸代（三重大学）

日本と中国の循環産業の国際展開状況：タイとベトナムを中心に

○佐々木 創¹, 常 杪², 杨 亮², 徐 欣馨², 和田 英樹³ (1中央大学, 2清華大学, 3サステイナブルシステムデザイン研究所)

討論者：染野 憲治 (早稲田大学)

市民と脱炭素社会を目指す「市民省エネ・節電所」の実証的評価

○村木 正義 (奈良県立大学)

討論者：佐々木 創 (中央大学)

環境と経済成長 座長：八木 迪幸 (信州大学)

9月26日 09:00-11:00 C会場

新国富と Malmquist-Luenberger 生産性指数の完全分解

○八木 迪幸¹, 馬奈木 俊介² (1信州大学, 2九州大学)

討論者：中野 牧子 (名古屋大学)

循環経済指標の発展にみる資源生産性指標の役割の再考 デカップリングとの関連付け

○粟生木 (鈴木) 千佳 (地球環境戦略研究機関)

討論者：吉田 綾 (国立環境研究所)

農業・食料 座長：吉田 謙太郎 (九州大学)

9月26日 09:00-11:00 D会場

Investigating the effects of altruism on consumer preference for food from disaster-affected regions: a case of Japan

○有賀 健高, Bolt Timothy (埼玉大学)

討論者：若松 宏樹 (水産研究・教育機構)

水産物サステナビリティに対する消費者選好の変遷

○若松 宏樹¹, 法理 樹里², 宮田 勉³, 大関 芳沖¹ (1水産研究・教育機構, 2滋賀県琵琶湖環境科学研究センター, 3国際農林水産業研究センター)

討論者：村上 佳世 (神戸大学)

新型コロナウイルス感染症 (COVID 19) の拡大による日本人の食生活への影響

○富吉 満之¹, 藤原 なつみ², 田村 典江³ (1久留米大学, 2九州大学, 3総合地球環境学研究所)

討論者：有賀 健高 (埼玉大学)

Basis risk は天候インデックス保険の低需要を説明できるか—ザンビアにおける実証

○児玉 航¹, 三浦 憲¹, 櫻井 武司² (1京都大学, 2東京大学)

討論者：高橋 和志 (政策研究大学院大学)

気候変動 座長：板岡 健之 (九州大学)

9月26日 09:00-11:00 E会場

東京都排出量取引制度の形成過程

○中澤 美昇, 金藤 正直 (法政大学)

討論者：木村 宰 (電力中央研究所)

地球温暖化におけるネガティブエミッションの実現可能性：BECCS と森林、農業の関係

○勝野 晃弘¹, 坂上 紳², 大沼 あゆみ¹ (1慶應義塾大学, 2熊本学園大学)

討論者：金藤 正直 (法政大学)

二酸化炭素回収利用貯留技術のアカウントティングにおける諸問題

○板岡 健之 (九州大学)

討論者：黒沢 厚志 (エネルギー総合工学研究所)

環境ガバナンス 座長：大塚 健司 (アジア経済研究所)

9月26日 09:00-11:00 F会場

東日本大震災復興から新生に向けた持続可能な地域社会の構成要素と形成要件

○中島 清隆 (岩手大学)

討論者：香坂 玲 (名古屋大学)

メコン流域の越境水資源管理をめぐる対立と協調—2019年干ばつの因果関係のポリティックス

○大塚 健司 (アジア経済研究所)

討論者：藤倉 良 (法政大学)

都道府県による森林環境譲与税の活用と市町村支援の動向：森林の公益的機能の発揮に関する税の使途の考察と議会議事録のテキスト分析

○香坂 玲¹, 内山 愉太¹, 松岡 光², 伊神 裕人¹, 鈴木 裕也¹ (¹名古屋大学, ²理化学研究所)

討論者：中山 恵子 (中京大学)

企画：ポスト・トランス・サイエンスの時代における専門知と地域知との協働のあり方を考える

座長：松本 礼史 (日本大学)

9月26日 14:00-16:00 A会場

トランス・サイエンス的課題としての1F処理水の海洋放出問題

○松岡 俊二 (早稲田大学大学院アジア太平洋研究科)

高レベル放射性廃棄物地層処分における対話のあり方を考える

○笹尾 英嗣 (日本原子力研究開発機構)

地震動予測の課題：不確かさといかに向き合うか

○藤原 広行 (国立研究開発法人 防災科学技術研究所)

「予測」への社会的期待とその逆機能：COVID-19と原子力の事例から

○寿楽 浩太 (東京電機大学)

討論者：秋光 信佳¹, 黒川 哲志², 阪本 真由美³, 竹内 真司⁴, 寺本 剛⁵

(¹東京大学, ²早稲田大学, ³兵庫県立大学, ⁴日本大学, ⁵中央大学)

企画：「5060目標」と「東アジア低炭素共同体」構想の具現化

座長：仲上 健一 (立命館大学)

9月26日 14:00-16:00 B会場

日本の2050年カーボンニュートラルの実現がエネルギー構成及びマクロ経済へ与える影響分析 - E3MEマクロ計量経済モデルを用いた分析 -

○李 秀澈¹, 何 彦旻², 昔 宣希³, 諸富 徹⁴, Unnada Chewpreecha⁵ (1名城大学, 2追手門学院大学, 3長崎大学, 4京都大学, 5Cambridge Econometrics)

カーボンプライシングと国際貿易

○山崎 雅人 (名古屋大学)

日本のカーボンニュートラル・シナリオおよび 米中の数値目標コミットメントの評価

○明日香 寿川 (東北大学)

「東アジア低炭素共同体」構想とその具現化 —中国の「3060 目標」実現に関する政策工学的分析

○周 瑋生 (立命館大学)

討論者：松下 和夫¹, 増井 利彦² (1京都大学, 2国立環境研究所)

企画：2050 年気候変動目標に向けた不確実性の中での企業行動の在り方

座長：堀 史郎 (福岡大学)

9 月 26 日 14:00-16:00 C 会場

役員の多様性は気候変動行動に影響するのか？：性別、国籍、世代の多様性の観点から

○野方 大輔¹, 早瀬 百合子², 堀 史郎³ (1佐賀大学, 2九州大学, 3福岡大学)

気候変動の長期目標に向けた日本企業と海外企業の戦略行動について CDP レポートと統合報告書にみる企業戦略の違い The business strategy of Japanese and foreign companies toward climate goals

○田中 沙知¹, 堀 史郎² (1CityNet 横浜プロジェクトオフィス, 2福岡大学)

気候分野における規格・認証の多様化と企業行動

○渡邊 智明 (福岡工業大学)

討論者：赤尾 健一¹, 亀山 康子², 杉山 昌広³ (1早稲田大学, 2国立環境研究所, 3東京大学)

企画：中国の炭素中立に向けた政策とその効果について

座長：藤川 清史（愛知学院大学）

9月26日 14:00-16:00 D会場

Optimal location for China's large-scale wind farms and power transmission policies

○王 嘉陽¹, 藤川 清史²（¹自然エネルギー財団, ²愛知学院大学）

Energy transition towards carbon neutrality in China: Are mitigation pathways feasible?

○居 ヌ義（早稲田大学）

中国の電源選択と排出量取引の有効性

○伴 ひかり¹, 藤川 清史²（¹神戸学院大学, ²愛知学院大学）

中国のCO₂排出変化の要因分析

○藤川 清史¹, 叶 作義²（¹愛知学院大学, ²上海对外経貿大学）

討論者：根本 二郎（名古屋大学）

貿易と環境 座長：成田 大樹（東京大学）

9月26日 14:00-16:00 E会場

多地域間産業連関分析を用いた都道府県別の環境フットプリントに関する研究

○佐藤 一郎, 成田 大樹（東京大学）

討論者：重富 陽介（長崎大学）

How does trade openness in Newly Industrialized Countries affects carbon dioxide emissions?

○Lin Yue（京都大学）

討論者：岡本 隼輔（尾道市立大学）

国際貿易における自然災害への脆弱性と適応に関する実証分析

○天島 華織¹, 竹内 憲司²（¹大阪府立大学, ²神戸大学）

討論者：鶴見 哲也（南山大学）

再生可能エネルギー (1) 座長：安田 陽 (京都大学)

9月26日 14:00-16:00 F会場

FIT から FIP へ：ドイツ卸電力市場における実証分析 From FIT to FIP: accessing the impact of feed-in policies on renewable energy development in Germany

○杜 依濛, Ma Teng (京都大学)

討論者：江口 昌伍 (福岡大学)

The impact of variable renewable energy penetration on wholesale electricity price in Japan

○阪口 真生志, 藤井 秀道 (九州大学)

討論者：安田 陽 (京都大学)

不確実性を考慮した太陽光発電所の発電効率性分析

○中本 裕哉¹, 江口 昌伍² (¹大分大学, ²福岡大学)

討論者：藤井 秀道 (九州大学)

Assessing the Impact of Offshore Wind Power Deployment on Fishery: A Synthetic Control Approach

○畠田 栄樹¹, 朝野 賢司², 永井 雄宇², 小澤 暁人¹ (¹産業技術総合研究所, ²電力中央研究所)

討論者：阪井 裕太郎 (東京大学)

Natural disaster 座長：David Wolf (神戸大学)

9月26日 16:30-18:30 A会場

Who Gives a Dam? Capitalization of Dam Flood Protection in Fukuoka Japan

○David Wolf, 竹内 憲司 (神戸大学)

討論者：加藤 尊秋 (北九州市立大学)

Governance Insights of Nature-based Solutions - Case studies from Sweden, Germany, Australia and Japan

○Kiss Bernadett^{1,2}, 高橋 若菜², Salk Carl³, 廣瀬 俊介⁴ (¹ルンド大学, ²宇都宮大学, ³スウェーデン農業科学大学, ⁴東京大学)

討論者：鶴見 哲也 (南山大学)

The Impact of Hurricane Katrina on the Income Distribution in the United States: A Synthetic Control Analysis

○Uliczka Niklas¹, Fuentes-Cordoba Gabriel² (¹Tohoku University, ²Sophia University)

討論者：山口 臨太郎（国立環境研究所）

企業と環境 座長：山口 恵子（岡山大学）

9月26日 16:30-18:30 B会場

企業のプラスチック利用と財務パフォーマンス

○熊丸 博隆, 竹内 憲司（神戸大学）

討論者：山本 雅資（東海大学）

株式市場は日本のSDGsスコアにどのように反応するか？

○山口 恵子（岡山大学）

討論者：中井 美和（福井県立大学）

中国民間企業を対象としたサステナビリティ・サプライチェーン・マネジメントの現状分析

○姚 瑤（法政大学）

討論者：八木 迪幸（信州大学）

自然資源管理 座長：堀江 哲也（上智大学）

9月26日 16:30-18:30 C会場

Knowledge Exchange and Inequality in Fisheries Resource Use: Evidence from a Small-Scale Fishery, Solomon Islands

○木山 正一¹, Otumawu-Apreku Kofi², Yamazaki Satoshi³, 東田 啓作⁴ (¹Kyoto University, ²SINU, ³University of Tasmania, ⁴Kwansei Gakuin University)

討論者：堀江 哲也（上智大学）

Sharing in the Commons: Evaluating the Pooling System in a Danish Seine Fishery in Japan

○阪井 裕太郎¹, 石原 広恵¹, 石野 光弘² (¹東京大学, ²水産研究・教育機構)

討論者：木山 正一（京都大学）

屋久島におけるガイド制度の認識に関する研究 –ガイドへの意識調査–

○濱岡 宙穂¹, 百村 帝彦^{1,2} (¹九州大学, ²熱帯農学研究センター)

討論者：功刀 祐之 (京都経済短期大学)

環境評価 座長：柘植 隆宏 (上智大学)

9月26日 16:30-18:30 D会場

森林幸福度の山村地域間での違いを探る

○高橋 卓也¹, 柘植 隆宏², 柴田 晋吾² (¹滋賀県立大学, ²上智大学)

討論者：井元 智子 (東北大学)

星空環境の経済評価 –福井県六呂師高原の事例–

○吉田 友美, 中城 智之, 三寺 潤, 吉村 朋矩 (福井工業大学)

討論者：吉田 謙太郎 (九州大学)

主体的な情報取得が環境評価に与える影響の検討

一ノ瀬 大輔¹, ○田島 夏与¹, 浅野 倫子¹, 横澤 一彦² (¹立教大学, ²東京大学)

討論者：柘植 隆宏 (上智大学)

水環境政策・流域管理 座長：西澤 英一郎 (法政大学)

9月26日 16:30-18:30 E会場

表流水と地下水の連結利用による安定化機能に対するオープンアクセスの影響について

○張 澤宇, 佐藤 正弘 (東北大学)

討論者：大塚 健司 (アジア経済研究所)

戦後の日本における下水処理政策の変遷

○平山 奈央子¹, 中村 正久² (¹滋賀県立大学, ²滋賀大学)

討論者：遠藤 崇浩 (大阪府立大学)

再生可能エネルギー (2) 座長：藤野 正也 (福島大学)

9月26日 16:30-18:30 F会場

日本の連系線は効率的に活用されているか？ 間接オークションの実証分析

○杉本 康太（東京財団政策研究所）

討論者：畠田 栄樹（産業技術総合研究所）

The Cross-regional Impacts of Renewable Power on the Electricity Market: An Empirical Study on Japan's Electricity Spot Market

○馬 騰¹, 杜 依濛¹, 徐 涛², 陳 旺³（¹京都大学, ²Hunan Normal University, ³Jinan University）

討論者：牛房 義明（北九州市立大学）

木質バイオマス発電の経済・環境分析—岐阜県を事例として

○藤野 正也¹, 橋本 昌也²（¹福島大学, ²株式会社みずほ銀行）

討論者：豊田 知世（島根県立大学）

東京都の再生可能エネルギー100%シナリオの検討

○松原 弘直¹, 歌川 学²（¹環境エネルギー政策研究所, ²産業技術総合研究所）

討論者：大島 堅一（龍谷大学）

参加方法について

Session Guidelines

はじめに

環境経済・政策学会 2021 年大会はオンライン開催となります。すべてのセッション、基調講演、総会、その他のイベントには Zoom を用いてご参加ください。

Background

SEEPS2021 will be an online-only event. All sessions and events, including the general assembly of members and plenary session, will be conducted through Zoom.

共通論題、Speed Talk、企画セッション

- 最大 7 つの平行セッションが同時並行で開催されます。
- 参加者は、ウェブプログラムに掲示される ID とパスワードを使って、セッションにご参加ください。
- 座長・発表者・討論者はセッション開始の 10 分前にはオンライン会場に集合し、画面共有のテストなどをおこなってください。
- セッションでは、座長に時間管理を含めた司会進行役をお願いします。
- 共通論題は報告 20 分、討論 5 分、フロア 5 分、Speed Talk は報告 10 分、フロア 5 分の時間配分です。
- 発表者・討論者は、画面共有を使ってスライドを提示し、発表してください。
- 発言している方以外は、マイクをミュートしてください。

Oral Sessions, Speed Talk Sessions, and Organized Oral Sessions

- Up to seven parallel sessions will be held concurrently.
- Please participate in a session using the ID and passcode indicated on the web program.
- The chairperson, presenters, and commentators should show up ten minutes before the session starts.
- The session will be moderated by the chairperson, including time management.
- Oral sessions: 20 minutes for each presentation, 5 minutes for the discussant, and 5 minutes for discussion with the audience.
- Speed Talk sessions: 10 minutes for each presentation and 5 minutes for discussions with the audience.
- Presenters and commentators should start their presentations by sharing their desktop screen.
- Please mute your mic when you are not speaking.

基調講演、総会、会長講演、授賞式

- 参加者は、オンライン大会 web サイトに掲示される ID とパスワードを使って、セッションにご参加ください。
- 発表者は、画面共有を使ってスライドを提示し、発表してください。
- 登壇者以外の参加者は、発言ができません。質問やコメントはチャット機能を使ってお寄せください。

The Plenary Session, General Assembly of Members, President's Speech and Award Ceremony

- Please participate in these events using the ID and passcode indicated on the online program.
- Presenters and commentators should start their presentations by sharing their desktop screen.
- Participants other than presenters cannot use their mic. Please send questions and comments using the chat function.

交流会

- Zoom のブレイクアウトルーム機能を用いて、参加者間の交流を図る予定です。
- 途中参加・途中退室しても全く問題ありませんので、お気軽にご参加ください。

Social Gathering

- A social gathering will be held on Saturday evening using Zoom breakout rooms.
- You can participate or leave anytime during the session. Please join us!

お問い合わせ先

大会実行委員長 竹内 憲司 takeuchi@econ.kobe-u.ac.jp

Any inquiry should be sent to:

Kenji Takeuchi (Chair of the organizing committee) takeuchi@econ.kobe-u.ac.jp

環境経済・政策学会 2021 年大会

オンライン開催

大会実行委員会

竹内憲司（委員長）、笹尾俊明、中井美和、村上佳世

SEEPS2021 Organizing Committee

Kenji Takeuchi (Chair), Toshiaki Sasao, Miwa Nakai, Kayo Murakami

プログラム委員会

藤井秀道（委員長）、伊藤豊、井上恵美子、井元智子、岩田和之、碓井健寛、
江口昌伍、小松悟、佐藤真行、高島伸幸、田中勝也、田中健太、豊田知世、東田啓作、
松本健一、山本裕基、若松美保子

SEEPS2021 Program Committee

Hidemichi Fujii (Chair), Yutaka Ito, Emiko Inoue, Tomoko Imoto, Kazuyuki Iwata,
Takehiro Usui, Shogo Eguchi, Satoru Komatsu, Masayuki Sato, Nobuyuki Takashima,
Katsuya Tanaka, Kenta Tanaka, Tomoyo Toyota, Keisaku Higashida,
Ken'ichi Matsumoto, Yuki Yamamoto, Mihoko Wakamatsu